

令和元年度 第 11 回教育委員会定例会

議決事項

件 名	提案理由	審議の状況	採決の次第
報告第 1 号 令和元年度垂水市一般会計補正予算（第 5 号）案についての市長への意見申出について	令和元年度垂水市一般会計補正予算（第 5 号）案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告するものである。	特記事項なし	
議案第 1 号 垂水市立図書館利用規則の一部改正について	大隅広域図書館ネットワーク事業に関し令和 2 年 3 月 1 日よりシステム運用開始を予定するに伴い、垂水市図書館利用規則の内容を変更する必要があるため一部改正しようとするものである。	特記事項なし	承 認
議案第 2 号 垂水市文化財の指定について	故垂城宰川上周賢子墓碑（史跡）を垂水市指定文化財として指定することで、保護し後世へ伝えようとするものである。	特記事項なし	承 認
議案第 3 号 垂水市教育振興基本計画の策定について	平成 27 年 2 月に策定した計画が最終年度を迎えたことから、令和 2 年度からの次期計画を策定しようとするものである。	特記事項なし	承 認
議案第 4 号 令和 2 年度垂水市一般会計当初予算案についての市長への意見申出について	令和 2 年度垂水市一般会計当初予算案の作成について、差し支えない旨回答しようとするものである。	特記事項なし	承 認

令和元年度 第 11 回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
令和元年 2 月 10 日（月） 午後 2 時 0 0 分 ↓ 午後 4 時 0 0 分 第 2 研修室	教 育 長 坂 元 裕 人 教 育 委 員 田 原 正 人 教 育 委 員 葛 迫 幸 平 教 育 委 員 田之上 厚 美 教 育 委 員 福 里 由 加	教育総務課長 紺 屋 昭 男 学校教育課長 明 石 浩 久 社会教育課長 野 嶋 正 人 国体推進課長 米 田 昭 嗣

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、令和元年度第11回教育委員会定例会を開会した。
議案第1号及び第3号、第4号の議案3件は非公開で審議する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

2 令和元年度第10回定例会会議録の承認

承認

3 議 事

- 報告第 1 号 令和元年度垂水市一般会計補正予算（第5号）案についての市長への意見申出について
- 議案第 1 号 垂水市立図書館利用規則の一部改正について
- 議案第 2 号 垂水市文化財の指定について
- 議案第 3 号 垂水市教育振興基本計画の策定について
- 議案第 4 号 令和2年度垂水市一般会計当初予算案についての市長への意見申出について

4 その他

なし

5 委員並びに教育長及び課長報告

6 閉 会

議事内容等

3 議 事	報告第 1 号 令和元年度垂水市一般会計補正予算（第 5 号）案についての市長への意見申出について
教育総務課長	令和元年度垂水市一般会計補正予算（第 5 号）案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告した。 （質疑なし）
田原委員	この時期になると減額補正があるがどうしてか。残った予算を落とすということか。
教育総務課長	そのとおりだ。予算残が 100 万円を超えると理由が必要となるため、今後予算の執行が必要でないものについて減額するものだ。特に事業完了や入札等による残額のものを減額補正している。
	議案第 1 号 垂水市立図書館利用規則の一部改正について（社会教育課） （非公開）
	議案第 2 号 垂水市文化財の指定について 故垂城宰川上周賢子墓碑(史跡)を垂水市指定文化財として指定することで、保護し後世へ伝えようとするということについて、その内容を説明。
社会教育課長	
田原委員	水之上地区では、毎年、さのぼりの時に清掃作業をしているが、寂しいところにあるよりも、どこか人目につく所に移設できないものかと思っている。
社会教育課長	地域の方のおかげで、周辺は孟宗竹が生い茂っている場所だが、歩けるように通り道は清掃されていることに感謝している。
田原委員	島津家墓所の付近に移設するということはできないのか。
社会教育課長	現時点では難しいと思える。例えば、そのような遺跡や武家門等をどこかの場所に集約して、後世に伝えていかなければならないのではないかと考える。
教育長	今後、日本遺産や島津家墓所などの一連の流れとして位置付けるのか。
社会教育課長	貴重な資料として、尋ねてみたいという方がいらっしゃれば、ご案内はしたいと思う。

葛迫委員	この石碑は、探し出したのか。
田原委員	以前から、その地にあることは知られていて、教育委員会の史跡として指定されていた。
教育長	文化財に指定すると、看板や説明書きなど作成するのか。
社会教育課長	この価値を見いだすということのために、今後の保存について市も注目しているということで、所有者が移転したり、土地を売買したりする場合は市の許可をもらわないといけなくなるため、市の監視のもと保存していければと考えている。
教育長	異議がないので、議案第 2 号は承認する。 議案第 3 号 垂水市教育振興基本計画の策定について (非公開) 議案第 4 号 令和 2 年度垂水市一般会計当初予算案についての市長への意見申出について (非公開)
4 その他	なし
5 委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告
教育長	委員並びに教育長及び課長の報告に入る。
田原委員	1. 「垂水市総合教育会議について」 2 月 7 日(金)、垂水市総合教育会議が開催され参加した。令和 2 年度からの第 3 期垂水市教育振興基本計画を基に、これからの教育について語る会議であった。 市長の巧みな司会に助けられながら、垂水市の現状や今後の教育について話し合われ、充実した時間であった。 不易なものとして、垂水の伝統や文化を大事にする教育であり、これからの教育として、I C T 教育や英語教育であろうと思った。 本市では、郷土の先人にちなんだ文化芸術教育や今後に夢や希望を抱かせる「夢教室」や「海外派遣事業～夢の翼～」、垂水のよさを気付かせる「ふるさと学習」や「ふるさと検定」、「集合学習」など、これまで積み上げてきたものを大事にしながら、新たな時代に対応できるよう工夫改善していけばいいのではないかと思った。

葛迫委員

1. 「垂水街角美術館の課外授業について」

1月11日(土)、垂水街角美術館の課外授業を柗原小学校で行った。校長先生、教頭先生、他の先生方も一緒になって、画家から教わる「デッサンの手法をみんなで見学しよう絵画教室」を2校時と3校時目を利用したの授業となった。

2校時の内容は、児童に対しての質問から始めた。デッサンとは何か知っていますか。聞いたことはありますが。紙はどうしてできているのか。紙の裏表はどうしてあるのか。鉛筆の握り方や、鉛筆はどうして2B、4B、8B、HB、そして2H、4Hとあるのか。どうして児童は2Bを使うのか。鉛筆の断面はどうなっているのか。鉛筆は丸い形や六角形の形をしているがどうしてだと思うか。今日のデッサンではどうして2B、4B、6BとBの鉛筆を使うのかなど説明や問題を出したりしながら、デッサンに対する興味を持たせる工夫をしながらの授業に入っていた。

その後、きょうは「リンゴ」を描いてみますというところから話は続き、「皆さんはどういう『リンゴ』がおいしいと思いますか。」という問いに、「リンゴのおいしさと絵がうまく描けることとは関係があるのかな。」という顔を多くの児童がしていた。

人は五感という感覚を持っているので、自分が描こうとするものを触ってみたり、においを嗅いでみたり、耳を澄ましてみたり、じいっと見つめてみたりして描いてみてください。「どういうふうを感じるか、自分で感じてみて何かを感じて描いてほしいと思います。」と伝えた。

私は、山形屋で買ってきたリンゴを今日持ってきました。このリンゴはとってもおいしいですよ。どうしておいしいのが分かるのかというと、それは、おいしいリンゴしか描かないからです。みんなも「おいしいリンゴ」がわかるようになるといいですねと話をしているうちに2校時も残り15分になっていて、「皆さんが持ってきた描く素材を5分間じっくり見て、そして触ってみて描いてください。」と伝え、私も描き始めた。

3校時が始まると、子どもたちは自分が持ってきた素材をじいっと眺めるところから始まった。鉛筆を持ち縦横の割合を測りながら悪戦苦闘という感じだった。

鉛筆の握り方が難しそうだったが、45分という長い時間「ああでもない、こうでもない。」と言いながら一生懸命に鉛筆を走らせていた。ただ鉛筆を動かすことで絵が完成していく、あっという間の時間の経過とともに、「白と黒の世界を子どもたちは楽しんでくれたのでは。」と思うことだった。

今回のデッサンの作品は今年の12月中旬まで柗原公民館に展示してある。今後、ほかの地域の小学校でもこの「課外授業アートスクール」が開催できればと考えている。

2. 「協和小学校研究公開について」

1月28日(火)、協和小学校での研究公開に出席した。

5年生と6年生の複式の算数科の授業で、5年生は割合を求める内容で、6年生はグラフにある割合を読み解く内容であった。「難しい授業をしているなあ。」と感じ、また複式の授業をされる先生も大変な苦労があると感じながら授業を拝見することだった。

田之上委員	授業研究会では、広い体育館で4チームに分かれて寒さを忘れて白熱ある研究協議がなされ、最後の指導講話では、「算数の楽しさ、不思議さ、美しさ」でもっと算数好きの子どもたちが多くなるようにと締めくくられた。「美しさ」はと思った瞬間、「色彩の構成」がパソコン画面に表れ、説得力ある言葉に感動した。素晴らしい研究公開だった。 1.「協和小学校研究公開の参加について」 1月28日(火)、協和小学校での研究公開に参加した。授業が始まるまでの時間の「ことば遊び」はとてもよい取組だと思った。 落ち着いたクラスの雰囲気の中で、子どもたちの主体性を大切にされて進められている授業だったように感じた。 複式としては人数が多く、児童からの多くの意見を引き出したりするのは大変だろうと思った。 授業研究の場では、グループに分かれて活発な意見交換がなされて、参加された先生方が今後授業に生かしてくださるだろうと確信することだった。 2.「放課後児童支援員研修に参加したことについて」 4日間にわたり、子どもに関する法令や子どもの人権、支援を必要とする子どもへの対応など、多岐に渡り学童クラブの支援員としての研修を受けることができた。 子どもとの関わりだけでなく、家庭や地域、学校との連携の大切さなど多くの示唆を受けた。私たち大人は、子ども一人一人の人権を認めて接することが必要であることを改めて思うことだった。
福里委員	1.「市PTA会員研修会について」 2月1日(土)に開催された市PTA会員研修会に出席する予定であったが、出席できなかったため、参加した他の保護者から感想を聞いたら、「とてもよい会議で、参加者も多かった。」とあった。 2月7日の総合教育会議で、坂元教育長が、「一家庭一家訓・一自慢」に力を入れていきたいと話されていたので、家に帰ってからわが子に我が家の自慢について聞いてみた。 一年生の子どもは、「自慢。そんなのないよ。」とあり、子どもから「お母さんはどう思うの」とあり、「家族が仲良しなことかな。」と言った。しばらくすると4年生の息子が帰ってきたので、同じように尋ねたところ、私は何も言っていないのに「家族みんなが仲良しなこと。」と言ったので、何かうれしい気持ちになった。息子自身考えているのだなと思った。 さて、幼稚園では、10回山歩きを行って、最後は自然の家近くの万滝登山をする。普段の練習ではアスファルトの上を歩くが、川を渡ったり、草があるところを歩いたりしていて、最後の万滝登山に向けて、年長さんの担任が土手を歩かせる練習をしたところ、土手をふらふら歩くとか、お尻で降りてきたりとかあったようで。やはり体の動かし方を知らないのだなと思った。そのようなこともあり、幼稚園ではいろいろな体験をさせてい

	るが、子どもたちが体験不足や経験不足で、なかなか自信が持てない、やったことがないからやらないという子どもが多い。そのため、失敗してもいいからやってみようねというふうに教えながら行っている。体の動かし方や体力がなくなっていることを感じている。家庭においてもいろいろな体験をさせてほしいと伝えているが、幼稚園生でもスマホなどで YouTube やゲームをしている子どもが多い状況である。子ども同士の話でも YouTube の話やゲームの話をしているので、不安を感じる。そのようなことを保護者にいかに説明をしていけばよいのだろうと思う。外で遊ぶ子どもが少なく、また、習い事が多いこともあるため、もう少し体験するという大事さを伝えていければと思うところである。
教育長	私が教員になりたての頃、ある体育の造けいに深い先生が、「変形姿勢をとらせなさい。」とあり、例えば、反るとか股を開くとか普段動かさない筋肉を動かすことが大事だとおっしゃっていた。そのようなことをさせないと、子どもはますます体が硬くなり動かない体になる。外で遊ぶことは大いに結構である。木に登る。木から落ちる。これも学びだともおっしゃっていた。まさに体験である。委員の話を聞いてそのことを思い出した。
教育長	1. 「若草文学賞について」 先日、若草文学賞の審査会の様子を見させてもらった。文化協会の理事の方が14名ほどいらっしゃって70数点作品が出ていて、「感動・喜び」テーマで小学1年生から中学3年生まで作品を出していた。その作品を一点一点読んで丁寧に審査されていて、午前9時にスタートし、途中休憩はあったが終わったのは午後2時過ぎであった。その審査の間には笑顔になったり、「この作品は好き」と声が出たりしていた。まさに審査を楽しんでおられる様子に感動した。 審査の採点はそれぞれ数値化され、最後は作品を読んでそれぞれの賞を決めていく。それぐらい慎重にまた丁寧に、また最後は声に出して選ばれてくる作品だからこそ、まさに価値があり感動であり、審査員の方々の思いも深く、それぞれの賞に込められているのだなあと思うことだった。 若草文学賞は、子どもたちにとっての素晴らしい賞なのだなあと改めて感じるとともに、このような機会に恵まれている垂水の子供たちは幸せだと思う。絵の体験にしてもそうだが、いろいろな体験を通して、子どもたちの感性や心が磨かれていくのではと思うことだった。
教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長 国体推進課長	1月11日から2月10日までの主な行事等について報告。 併せて、3月10日までの予定についてお知らせした。
6 閉 会	